

高等部校舎新築工事鍬入式 式辞

2008年8月11日(月)

理事長の松澤でございます。

はじめに、本日こうして青山学院高等部校舎新築工事鍬入式を挙行できますことを、神様に心からの感謝を申し上げます。

また本日は、お忙しい中、青山学院高等部後援会および青山学院校友会・高等部同窓会の会長、設計・監理・工事を担当される日建設計ならびに戸田建設株式会社を代表する方々、その他多くの関係者の方々が、この鍬入式にご臨席くださっておりますことを厚く御礼申し上げます。

青山学院では、これまで、全学的に校舎の耐震補強工事を検討・実施してきており、昨年初等部校舎の全面建て替え工事が完成し、今年度より、高等部も、新しい校舎への建て替え工事が始まり、生徒の皆さんや保護者の方、そして教職員の方には大きなご不便をおかけいたしますが、どうかご理解をいただきますようお願い申し上げます。

そして、高等部の先生方には、校舎という外見だけではなく、先人達の築いた歴史の中で一步一步進んできた高い評価を更に良くするため力を合わせ、そこで行なわれる教育が、これを機会に一致協力して、より中身の濃い、充実したものとなるよう、是非お願いいたします。

工事期間が長く学内で工事しておりますので、生徒の勉学に支障がないよう、また事故等の発生には万全を期されるでしょうがそのようなことのないよう、そしてここで学んだ生徒が将来社会で活躍することを願い、主なる神様にお祈りして、式辞といたします。